



■ 多摩都市モノレール商品化許諾済

上北台 ⇄ 多摩センター 【往復】 デイ&ナイト 4K 撮影作品*



ANRS-72405B / 本編約 160 分 5,500 円 (税込)

ANRS-72404 / 本編約 160 分 4,950 円 (税込)

■ 撮影日 / 2024 年 8 月 20 日 (火) 晴

■ 車 両 1000 系 3 両

デ イ : 上北台 (11:56 発) ⇒ 多摩センター (12:34 着 -13: 57 発) ⇒ 上北台 (14 :34 着)

ナ イ ト : 上北台 (18:44 発) ⇒ 多摩センター (19:22 着 -19: 25 発) ⇒ 上北台 (20 :03 着)

■ 本編の概要 ■

開業 25 周年を記念し、日中と夕方から夜にかけて、それぞれの往復区間を展望撮影しています。上北台発車し、東大和市街を眼下に望みながら南下して行き、玉川上水は西武鉄道拝島線との接続駅だ。立飛を出ると、車両基地への引き込み線が右へ分れ、工場地帯を進んで行く。大型商業施設やマンションが目立ってくると立川北に到着する。JR 立川駅の真上を乗り越え、立川南を過ぎると新興住宅地が広がり、多摩川を渡って行く。高幡不動から先は多摩丘陵地帯を走り、急なカーブ区間やトンネル、そして急勾配区間もある。松が谷を出ると丘陵地帯も終わり、目前に巨大商業施設やマンションが見えてくると終点の多摩センターだが、その手前の乞田川を渡る地点が 22m ある線内最高地点である。夜間展望は昼間とは違う趣があります。

◆ 主な見どころのキャプチャ画像 ◆ 主に〔デイ：上北台→多摩センター〕をキャプチャしています。

〈デイ：往路〉

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



ポイントが切り替わり、上北台を発車！モノレール独特のレール形態もよく分かる。



対向列車とすれ違う。防音壁もなく、遠くまで眺めがいい！
(玉川上水～砂川七番)



右に分岐するレールは、車両基地への引き込み線で、デルタ線になっている。(立飛～高松)



立川北を発車すると、JR 立川駅の真上を Sカーブで越えて行く。すぐに立川南に着く。



多摩川を渡る。向こう岸までよく見渡せ、高い建物もなく郊外の趣だ。(柴崎体育館～甲州街道)



ダイナミックな Sカーブが続く。左下の線路は京王動物園線。(程久保～多摩動物公園)



多摩丘陵トンネルに入る (220m)。線内唯一のトンネルだ。(多摩動物公園～中央大学・明星大学)



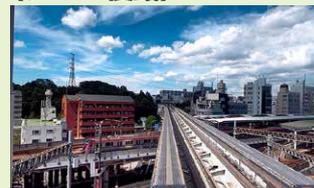
中央大学・明星大学は地上駅で、他の駅とは造りが異なっている。



乞田川を渡る付近が、地上からの最高地点で 22m の高さだ。(松が谷～多摩センター)



今は終端駅となっている多摩センターだが、将来は町田や八王子に延伸計画があるようだ。



多摩センターを発車して、再び上北台へ。眼下の京王相模原線を 5000 系が走る。



線内で最大の 57.5% の急勾配を上る。(大塚・帝京大学～中央大学・明星大学)

〈デイ：復路〉

〈ナイト：往路〉



日の入り直後の上北台。南下するにつれ徐々に夜の帳が下りてくる。



夜の多摩川を渡る。側道の灯が進路を彩り、向こう岸の街の灯りも情緒がある。



程久保に停車中、京王動物線の電車が一筋の光となって走り去って行った。



煌々とした多摩センター周辺は、昼間とは違う表情を見せる。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見つらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。